
スマートウェルネスみしま アクションプラン

(平成 25～27 年度)



三島市

“健幸”都市みしまを目指して

私は常々、市役所は「市民の役に立つ所」でなければならないと考えております。言い換えますと、市役所は、市民一人ひとりの「幸せづくり」をサポートする大切な役割を担っていることを強く意識しなければならないということです。もちろん、人の価値観はそれぞれで、どのようなことに幸せを感じるかも十人十色ですが、幸せの基本となるものは、まずもって健康であるということに関しては、異論がないはずで

このように、人の幸せの礎が健康であるということに加え、超高齢・人口減少社会を迎え、社会保障費も増大するなかで、人々の健康はもはや個人だけではなく、社会全体の問題としてとらえる必要が出てきております。

こうしたなか三島市では、市民の幸福感の向上を目指し、健康の視点を従来の保健・医療分野だけに留まらず、市政のあらゆる領域に取り入れたまちづくり「スマートウェルネスみしま」に取り組んでいるところであります。

この「スマートウェルネスみしま」では、関連する領域を「“健幸”都市みしまのたまご」として、三層構造で整理しています。その核には食と運動・スポーツを中心とした「健康づくり」を位置づけるとともに、その外側に社会参加の仕組みづくりとしての「いきがい・きずなづくり」を据え、さらに健康を切り口とした地域活性化、産業振興がこれらを包みこむようなイメージで考えています。

この「“健幸”都市みしまのたまご」を大切に育て、三島の未来を担う新たな息吹を生み出し、人が健康で、まちも元気で活気あふれる“健幸”都市づくりを進めていくための指針となるものが、この度策定しました「スマートウェルネスみしまアクションプラン」です。

その策定にあたっては、健康づくりや社会参加に関心の薄い層への新たなアプローチ手法等を検討するため、自由な発想を大切にしたいと考え、7部20課に及ぶ幅広い部署から若手・中堅職員を集めた重点プロジェクトチームを立ち上げました。

そして、この重点プロジェクトチームの活発な議論から生まれた新規事業のアイデアを、市民の皆様方や関係機関の方々のご意見を伺う中で、平成25年度から3か年の具体的な取り組みを定めた「スマートウェルネスみしまアクションプラン」として練り上げたところであります。

今後、この幅広い領域に跨るアクションプランを着実に実行していくため、庁内の連携を更に強化するとともに、市民・NPO・事業者の皆様との協働による取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三島市長 豊岡 武士

目 次

序章	1
はじめに	3
第1章 背景と課題	5
1 スマートウエルネスみしまに係る背景の把握	6
第2章 スマートウエルネスみしまの基本方針	19
1 「スマートウエルネスみしま」の基本的考え方	20
2 「スマートウエルネスみしま」の将来像と取り組み方針	22
3 「スマートウエルネスみしま」の施策の体系	25
第3章 スマートウエルネスみしまのコアプロジェクト	29
1 コアプロジェクトについて	30
2 コアプロジェクトの内容	32
資料編	49

序 章

はじめに

これまで三島市では、平成元年に「健康都市宣言」を行い、「健康みしま 21」を策定するなかで、生活習慣病予防をはじめとする疾病対策、市民が主体的に取り組む健康づくりや地域、グループで支えあう健康づくりへの支援に努めてきました。

また、平成 21 年 3 月には「食育推進都市宣言」を行い、市民が自らの食を考え、食に対する知識や選ぶ力を身に付けられるよう、産・官・学・民の「協働」により、あらゆるライフステージにおける食育活動を推進し、市民が生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるまちづくりを進めてきました。

しかしながら、人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化が急速に進むとともに疾病構造も様変わりし、生涯を通じて自立した生活ができる健康寿命の延伸に向けて、年齢層に応じた生活習慣病予防や介護予防、心の健康の保持など新たな健康に関する施策はもとより、健康と密接な関係のある社会環境の変革にまで踏み込んだ総合的な健康政策の構築が急務となってきています。

このような状況の中、三島市では、あらゆる分野に健康の視点を取り入れる「スマートウェルネスシティ構想」による“健幸”都市づくりを施策の柱に位置付けました。スマートウェルネスシティ構想とは、「ウェルネス（健幸：個々人が健康かついきがいをもち、安心安全で豊かな生活を営むことのできること）」をまちづくりの中核に位置づけ、保健・医療分野だけで個人の健康増進を図るのではなく、生活環境や地域社会、学校や企業など、あらゆる分野を視野に入れた取り組みにより、都市そのものを健康にすることで、市民が自然に健康で豊かになれる新しい都市モデルを構築しようとする考え方です。

三島版のスマートウェルネスシティ構想である「スマートウェルネスみしま」プロジェクトでは、地域の担い手である市民が主体的に健康維持・社会参加する仕組みづくりを推進し、少子高齢社会においても持続可能な都市づくりと地域の活性化を目標としています。また、従来、行政が縦割りで行ってきた健康政策を市民、NPO、事業者と行政が協働で進め、市民全体に浸透する多面的な健康政策に転換していくことも重要視しています。

こうしたなか、スマートウェルネスみしまの取り組みの方向性を示す指針として、また、新たに実行していく事業の位置づけを図るため、本アクションプランを策定しました。

